

ベンチャー精神あふれる企業を支援します。



Koriyama Area Technopolis Promotion Organization

URL <http://www.techno-media.net6.or.jp/>
E-mail techno@nm.net6.or.jp

【沿革と役割】

財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構は、1986年(昭61.3.1福島県知事設立許可)に福島県・テクノポリス圏域6市町村(郡山市・須賀川市・鏡石町・石川町・玉川村・三春町)そして圏域内企業の基金造成(基金約15億円)により設立されました。産業界、大学、研究機関及び行政機関等との連携の下、ベンチャー精神あふれる企業が多く活躍するものづくり拠点の形成を目指しています。

【事業】

郡山地域高度技術産業集積活性化計画(平成12年12月福島県策定)に掲げる重点4分野(『情報通信関連分野』、『医療福祉関連分野』、『環境関連分野』、『新製造技術関連分野』)を中心として、地域のニーズに基づく新事業創出、研究開発型企業の支援、ものづくり人材の育成などに取り組んでいます。

財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保19番8 ビッグバレットふくしま3階

TEL:024-947-4400 FAX:024-947-4475

テクノポリス地域の特性

- 新産都市、テクノポリスを経て集積された機械、金属、電気、電子、化学、食品、情報など多様な業種と技術の集積
- テクノポリスなどによって構築された機動的な産学官と企業間の連携体制
- 大学、研究機関の立地、高速交通の結節点、工業団地の整備などによるものづくりの適地

テクノポリスの地域戦略

- 地域特性の結集によるインキュベータ拠点の形成
- アライアンス(企業連合)によるものづくり拠点の形成
- 世界で勝ち抜く研究開発・事業化拠点の形成

テクノポリス圏域の概要

| | | |
|------------|---|--|
| 面積 | 130,289ha (県土の9.5%) | |
| 人口 | 477,661人 (平成17年10月1日国勢調査)(県人口の22.8%) | |
| 製造品出荷額等 | 14,370億円 (平成18年工業統計調査)(県全体の24.3%) | |
| 付加価値額 | 5,292億円 (平成18年工業統計調査)(県全体の24.2%) | |
| 開業率 | 4.64% (平成18年事業所・企業統計調査) ※郡山市・須賀川市のみデータ ※平成16～18年平均 全国4.98% 県4.29% | |
| 主な工業団地 | 郡山市 | 郡山中央工業団地、郡山西部第二工業団地、郡山ウエストソフトパーク 他 |
| | 須賀川市 | 須賀川横山工業団地、須賀川北部工業団地、須賀川テクニカルリサーチガーデン 他 |
| | 鏡石町 | 鏡石東部工業団地、鏡石境工業団地 他 |
| | 石川町 | 石川西部工業団地、鳥内工業団地 |
| | 玉川村 | 玉川南工業団地 |
| | 三春町 | 田村西部工業団地、大平工業団地 他 |
| 工学系大学・研究機関 | 日本大学工学部(土木・建築・機械・電気電子・物質化学・情報)、郡山女子大学(家政学部)、奥羽大学(歯学部・薬学部)、福島県ハイテクプラザ、福島県農業総合センター、福島県林業研究センター | |
| 主要企業 | 三菱電機(株)、曙ブレーキ工業(株)、松下電工(株)、三菱樹脂(株)、東京応化工業(株)、日東紡績(株)、ソニーエナジーデバイス(株)、東北保土谷(株)、東北アンリツ(株)、日本化学工業(株)、クラリオン(株)、アイカ工業(株)、(株)日本デジタル研究所、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、日本電産コパル精密部品(株)、日本全薬工業(株) 他 | |



新事業創出 育成事業



郡山地域テクノポリス ものづくりインキュベーション センター

「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」は、ものづくりによる新たな産業の創出を促進するための起業支援施設で、企業等の入居スペースのほか、東北初となるプロトタイプ（試作品）を製作するための工作機械を備えた試作センターを併設しています。

研究開発・事業化支援のための専門家（インキュベーションマネージャー・技術コーディネーター・技術指導員等）を配置して、様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学等の知的資源や産業支援ネットワークを活用し、技術シーズの事業化を支援します。

Koriyama Area Technopolis
Promotion Organization



起業支援室(事務室タイプ)



ロビー



試作センター



起業支援室(実験室タイプ)

■趣旨

財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構では、製造業を中心として、新たに事業を開始しようとする方や新事業に取り組む企業を対象に、大学等と連携して新製品の研究開発をする場、プロトタイプ(試作品)を製作する場を低廉な料金で提供するため、国、福島県、郡山市、日本大学等の助成を受け、平成18年8月に『郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター』を日本大学工学部敷地内に建設し、その管理・運営を行っています。

■支援メニュー

新製品の研究開発による新事業創出の成功率を高めるため、研究開発の指導者がいる大学の敷地内に、新製品のプロトタイプ(試作品)を設計・製作する《場》、試作のための基本的な《設備》、経営・技術両面での支援のための《人材》を提供します。

《場》

日本大学工学部キャンパス内に新製品の研究開発の拠点として、低廉な料金で入居可能な起業支援室(11室)を提供。(24時間365日利用可)

《設備》

プロトタイプの製作に必要な各種工作機器を備えた試作センターを併設。(高精度立体加工用マシニングセンタ等を設置)

《人材》

- インキュベーションマネージャーによる経営・技術両面でのアドバイスや各分野の専門家・支援機関などの紹介。
- 技術指導員による試作センターでの試作品製作の際の技術指導。
- 技術コーディネーターによる研究開発・起業化の助成支援、各分野の研究會開催、大学・公設試験研究機関等の研究者との連携。郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業連携)形成への参加等。

郡山地域テクノポリス ものづくりインキュベーションセンター

〒963-1165 福島県郡山市田村町徳定字中河原1番1(日大工学部敷地内)
TEL.024-926-0344 FAX.024-943-4441
URL <http://www.monodukuri.net6.or.jp/>
E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp
設置・運営主体 (財)郡山地域テクノポリス推進機構

研究会 (郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議研究開発推進部会)

産学官連携による研究開発体制の構築を目的に活動しています。

大学等との連携により技術シーズの紹介・提案、共同研究案件の掘り起こしを行っています。

環境保全・ 共生科学技術 研究会

01

(財)郡山地域テクノポリス推進機構、日本大学工学部との共同主催。

同大学の環境保全・共生共同研究センターと連携した研究会。

環境をテーマとした研究シーズを地域の産業界と融合し新事業創出を図ることが目的です。

主な研究テーマは、「大気、水質、土壌などの自然環境の保全・修復」、「省エネルギーやクリーンエネルギー」、「廃棄物の処理・リサイクルや未利用資源の活用」、「環境に関する影響評価・分析」、「環境関連装置」、「環境に調和した製品」など。

医療・福祉機器等 関連新事業創出 研究会

02

(財)郡山地域テクノポリス推進機構、日本大学工学部との共同主催。

同大学の次世代工学技術研究センターと連携した研究会。

医学と工学などの学問の領域を超えた異なる分野の研究体制により新事業創出を図ることが目的です。

「医療や福祉の現場ニーズに関する懇談会」、「医学・工学産業界連携フォーラム」、「先進企業の発表会」などを開催しています。

機能性材料・ 製造プロセス 研究会

03

(財)郡山地域テクノポリス推進機構の主催。日本大学工学部と福島大学地域創造支援センター、奥羽大学の3大学と福島県ハイテクプラザとの共催。

機能性材料と製造技術は経済発展の礎となるものであり、研究開発の需要も高い分野です。

「新しい材料や製造技術」、「現行の材料や製造技術の改善」などがメインテーマとなっています。共催する4機関が保有する研究内容や研究設備を相互に把握することができ、連携の強化にもつながっています。

※このほか、異業種の経営者が集う「アドホック研究会」などがあります。

人材育成事業 研究会

Meister's College

テクノポリス圏域には、電気機械、精密機械、金属等の機械工業の基盤的技術に立脚した製造業が集積しておりますが、強みを活かした展開を推進するためには、企業の高付加価値化を図り、経済産業の変化への対応を積極的に図る必要があります。

これらの状況を踏まえ、中小企業を対象に、企業、大学等高等教育機関、試験研究機関、産業支援機関等の産学官連携により、今後成長する先端技術に対応できるような基盤的製造技術の高度化を図る人材の育成事業を実施しています。



研究開発・事業化 コーディネート事業

研究開発・事業化コーディネート

■研究テーマ/「液晶保護PETフィルムリサイクル用減容巻き取り装置」 ■助成事業区分/平成19年度上半期研究開発助成事業 ■企業名/笠原工業(株) ■内容/液晶用光学フィルムの加工工程中に剥離発生する保護フィルム(PETフィルム)をリサイクル可能なロール巻き状に減容加工する装置の開発。



減容巻き取り機

■研究テーマ/「センサーとシーケンサーによる段ボール製造装置の製品ズレ検査装置の開発」 ■助成事業区分/平成19年度下半期研究開発助成事業 ■企業名/神田産業(株) ■内容/約50種類にも及ぶ段ボール箱の生産工程において全製品の規格適合検査を、高度なカメラ監視などによる画像解析システムを使わず機械化し、高速稼働(20,000~50,000枚/日)で不具合の検出を効率化した経済的な検査装置の開発。

■研究テーマ/「携帯用・非常用燃料電池の研究開発」 ■助成事業区分/平成19年度下半期研究開発助成事業 ■企業名/クリーン・エネルギー・ネットワーク有限責任事業組合 ■内容/大手企業が開発を進めている方式とは異なり、CO₂、COを排出しない環境負荷に配慮したコンパクトな全天候式「非常用・携帯用燃料電池」試作機の開発。

NUBIC(日本大学産官学連携知財センター) 郡山サテライトの開設

財団法人郡山地域テクノポリス推進機構と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産学連携活動を活性化し、日本大学及び企業間において行われる共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・推進に寄与するため、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター内にNUBIC郡山サテライトを開設しています。

ご相談下さい

- 日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋等
- 知的財産制度、その運用等に関する情報提供(相談の内容は弁理士法等の法令に抵触しない範囲とし、これを超える場合には弁理士等の専門家を紹介する)
- 研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介
- その他、知的財産・産学連携活動の推進及び地域産業の活性化に資すること

※相談いただきました内容に対して、担当者は守秘義務を負いますので、ご安心ください。

- ★郡山地域をはじめ県内の中小企業・個人等、知的財産・産学連携に関心のある方が対象です。
- ★経験豊富なNUBICのコーディネーターが相談に対応いたします。
- ★相談は無料です。(ただし相談の結果、試作など行う場合は実費をいただくことがあります。)

開設日時/毎月第4水曜日 10:00~16:00(変更する場合がございます)※事前申込み(1週間前までに)
開設場所及び申込先/郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

ユニバーサルデザイン製品の開発支援

ユニバーサルデザイン製品の開発や販路開拓などの総合的な支援を行っています。



くるっとちゃぼん



桐製カリンバ



手のひら碗



都会のスペース



お気に入りの器



漆粘土を使った遊具



「みんな快適室内ベンチ・スツール・テーブル」うつくしま

案内所
案内所 Directions
案内所 안내소

ようこそ
歓迎光臨 Welcome
歡迎光臨 어서 오십시오

ご自由にお取りください
無償取寄せ Take-Or-Free
無償取寄せ 取寄せ 取寄せ

ここで喫煙はできません
禁煙区域 No Smoking
禁煙区域 禁煙하지 말아주세요

多言語UDシート



UD礼服

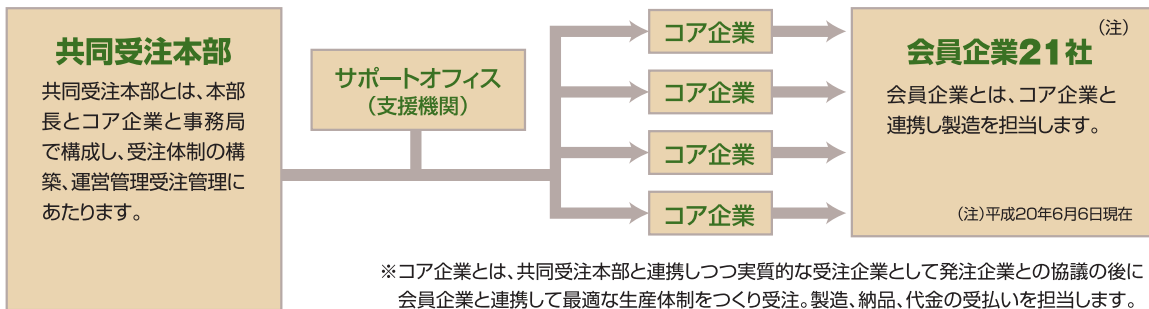
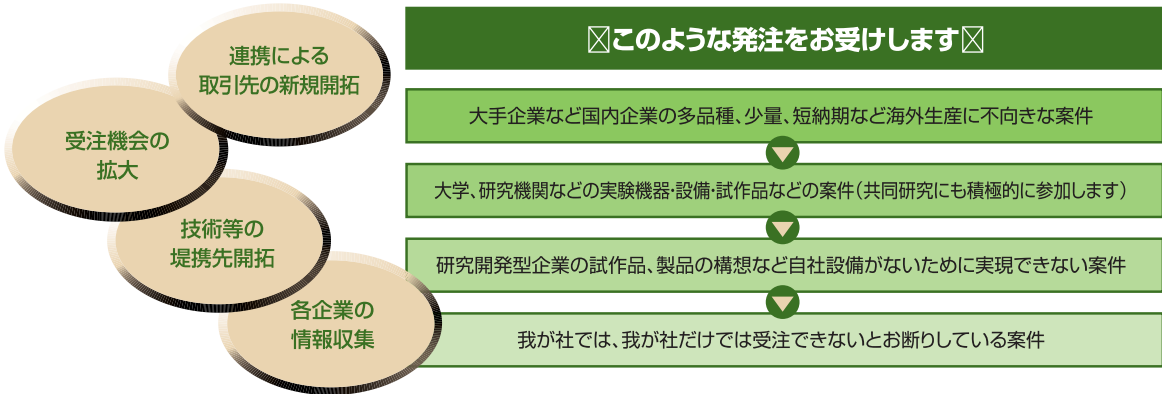
共同受託製造サービス機関

(郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議受発注推進部会)

受発注の開拓、受け皿の整備をし、国内にあり続ける需要ニーズ(少量・多品種、即応サービスなど)に応えます。1社では限りがある設備や技術をアライアンス(企業連携)で解消し、大型案件の受注を目指しています。会員企業の中から21社が参画し、共同受注体制を構築しています。



アライアンス共同受注の目的



郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

関連事業

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会では、当協議会を企業、住民、市町村、大学・研究機関など広範な「情報交流と仲介の拠点(愛称:郡山地域ITリエゾン機構)」に位置づけ、(財)郡山地域テクノポリス推進機構と連携しながら圏域6市町村の高度情報化を支援しています。

■事業イメージ図



■新事業創出育成事業

「郡山地域テクノポリスものづくり インキュベーションセンター」の設置・運営

主として製造業者を中心に、新たに事業を開始しようとする方や新事業に取り組む企業を対象に、大学等と連携して新製品の研究開発をする場、プロトタイプ(試作品)を製作する場を低廉な料金で提供しています。

01

■研究会・人材育成事業

産学官連携による研究開発体制の構築を目的に、新事業創出のための技術シーズ・ニーズの探索・掘り起こしや、専門的な知識・技術の習得の機会を提供しています。

●各種研究会等の開催・活動支援

- 「郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議」
- 「環境保全・共生科学技術研究会」
- 「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」
- 「機能性材料・製造プロセス研究会」
- 「アドホック研究会」
- 「各種講演会」

●人材育成事業の実施

- 産学官連携により、今後成長が見込まれる先端技術に対応し、基盤的製造技術の高度化を図る人材育成事業を実施しています。

『産学連携製造技術人材育成事業(マスターズ・カレッジ)』の開講 ※H18年度より実施

02

■研究開発・事業化コーディネート事業

●技術コーディネーターによる支援

新技術・新製品の研究開発や新事業創出を志される企業・個人の方々の相談窓口として、経験豊富な「技術コーディネーター」を配置し、開発から事業化までの支援を行っています。

【主な相談内容】

- 新分野進出や起業化等のビジネスプランに関する相談
- 大学・公設試験研究機関等各分野の研究者・専門家や支援機関などの紹介
- 研究開発資金、各種助成制度に関する相談
- 受発注に関する相談
- その他、産学官連携活動や地域企業の技術力の高度化に関する相談 など。

【相談日時】

毎週月曜日から金曜日までの午前9時より午後4時まで。(来所の際は事前にご連絡願います。)

【相談料】

無料です。

●NUBIC郡山サテライトの開設

03



■関連事業

- 企業連合(アライアンス)による共同受託製造サービスの推進 (Fukushima Flexible Manufacturing Services) 「郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議」
- 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業 推進協議会(郡山地域ITリエゾン機構)との連携による情報化の推進

04

■研究開発起業化助成事業

1. F/S(実現可能性)支援制度

研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段のフィジビリティスタディ(実現可能性・起業化可能性の調査検討=F/S)を行う場合に経費の3分の2以内で100万円を限度に助成します。

2. 研究開発助成制度

新製品・新技術の開発や技術の高度化に関する研究開発を行う企業または共同研究グループに対して研究開発に要する経費の3分の2以内で300万円を限度に助成します。

3. 地域技術起業化助成制度

中小企業等が、技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するために、必要な製品・商品開発、デザイン開発、情報収集などの事業を行う場合に経費の3分の2以内で500万円を限度に助成します。

4. 新技術・新製品市場開拓支援制度

自らが所有する優れた新技術、新製品の新規市場開拓や販路拡大に繋げることを目的に行う、産業見本市等への出展や、市場等の調査、テストマーケティング、アドバイザーの活用など戦略的マーケティングの取り組みに対して経費の一部を助成します。

5. 技術高度化研修支援制度

企業の技術力向上による取引拡大や技術経営の確立を図るため、新たに取り組む技術分野の習得を目的としたメーカー等への従業員派遣研修やMOT(技術経営)人材育成研修等を行う場合に経費の3分の2以内で50万円を限度に助成します。

6. 債務保証制度

優秀な技術力、製品開発力がありながら資金力不足などの理由で、研究開発が促進できない企業のために、当推進機構が無担保で2,000万円まで債務を保証する制度です。

7. 信用保証料補助制度

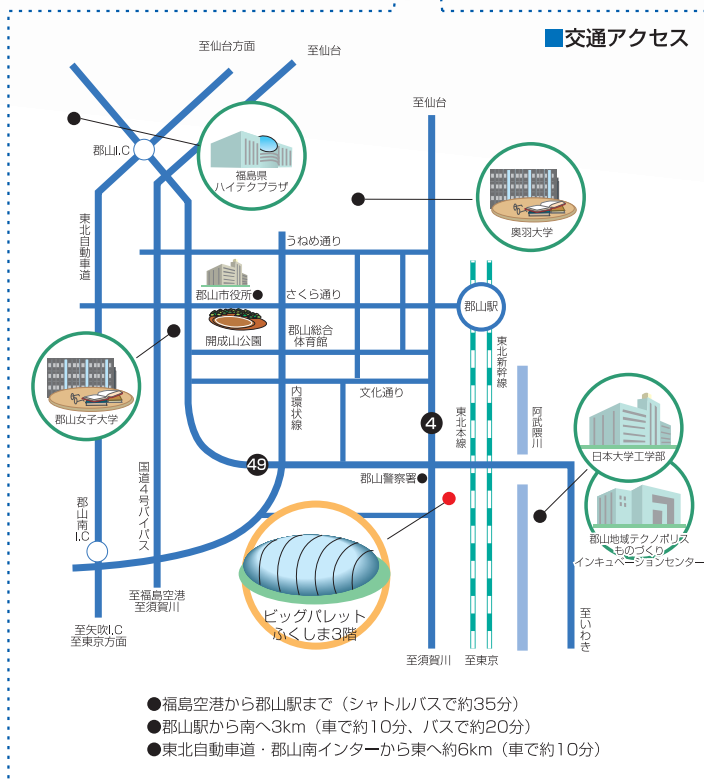
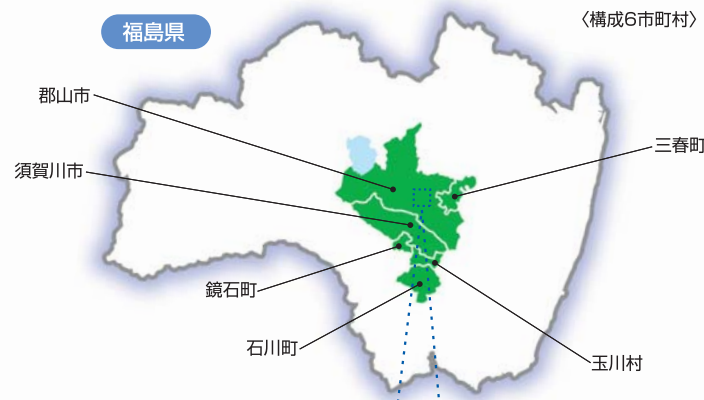
新技術、新製品などの研究開発に要する資金を金融機関から借入するに際し、福島県信用保証協会に支払った信用保証料を50万円を限度に補助します。

05



Koriyama Area
Technopolis
Promotion
Organization

■テクノポリス圏域



財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保19番8（ビッグパレットふくしま3階）
TEL.024-947-4400 FAX.024-947-4475
●URL <http://www.techno-media.net6.or.jp/> ●E-mail techno@nm.net6.or.jp

財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〒963-1165 福島県郡山市田村町徳定字中河原1番1（日本大学工学部キャンパス内）
TEL.024-926-0344 FAX.024-943-4441
●URL <http://www.monodukuri.net6.or.jp/> ●E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp



適切に育まれた森から生まれたFSC認証紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。